

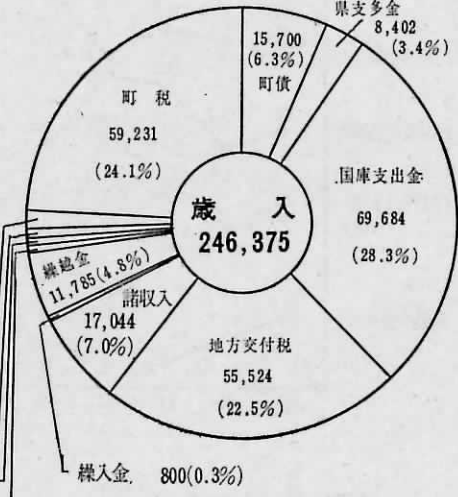
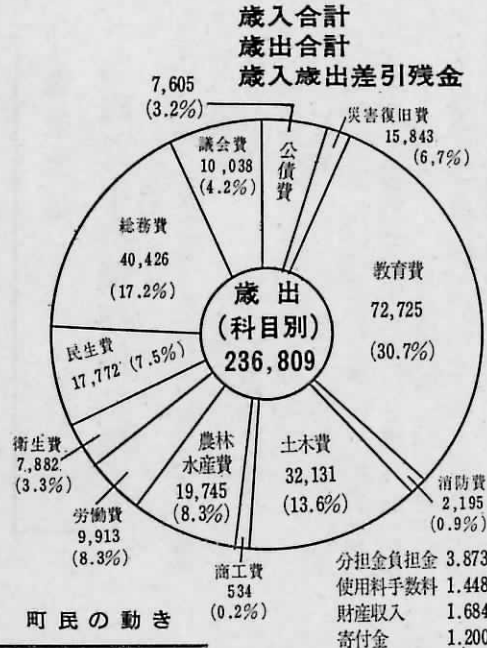
おんが

町の財政はどのようになっているか

一般会計 昭和四十二年年度決算

昭和四十二年年度の決算が本年二月十日の議会で認定されましたので町民の皆さんと共に左記の図表によってふりかえってみましょう。

歳入合計 246,375
 歳出合計 236,809
 歳入歳出差引残金 9,566
 (単位 千円 昭和42年度決算統計から)

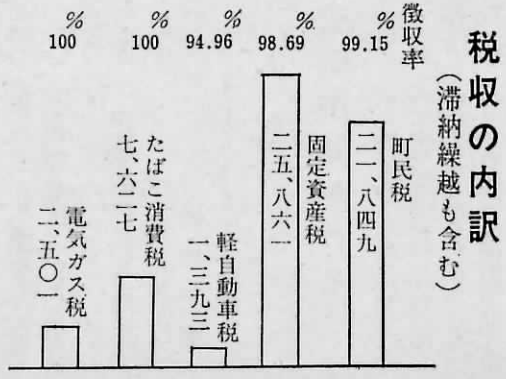


町民の動き

| | |
|---------|---------|
| 1月末 | 2,246世帯 |
| 男 | 4,421人 |
| 女 | 4,809人 |
| 計 | 9,230人 |
| 2月異動 | |
| + 12世帯 | |
| 男 + 4人 | |
| 女 + 7人 | |
| 計 + 11人 | |
| 2月末 | 2,258世帯 |
| 男 | 4,425人 |
| 女 | 4,816人 |
| 計 | 9,241人 |

性質別経費の内訳

| 区分 | 決算額 | 構成比 |
|---------|---------|-------|
| 人件費 | 68,055 | 28.7% |
| 扶助費 | 10,404 | 4.3% |
| 公債費 | 7,605 | 3.2% |
| 物件費 | 19,977 | 8.4% |
| 維持補修費 | 8,288 | 3.5% |
| 補助費 | 14,856 | 6.3% |
| 繰出金 | 2,500 | 1.1% |
| 普通建設事業費 | 79,075 | 33.4% |
| 災害復旧事業費 | 15,843 | 6.7% |
| 失業対策事業費 | 9,913 | 4.2% |
| その他 | 293 | 0.1% |
| 合計 | 236,809 | 100% |



税収の内訳

発行所 遠賀町役場
 編集発行 遠賀町庶務課
 印刷所 冷牟田印刷合資会社

日本の平和と安全を守る
 『陸、海、空、自衛官募集中』
 応募資格満十八才から二十五才未満の健康な男子
 くわしいことは役場庶務課にお問い合わせ下さい

四三年水稲作柄結果

全国では史上二位を記録する豊作でしたが、当遠賀町の一〇アール当り収量は前年の八七パーセントと大巾な減収となり史上四位の結果となりました。

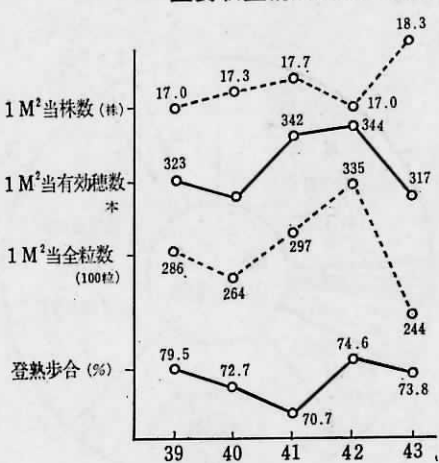
こうした作柄にとどまった要因の中から特徴的なものを調べてみました。

第一図の収量を決定する最小限主要収量構成要素の変化図によりまず、一平方米当り株数は一八

年と比較すれば斜線分だけ低温でありそして日照時間は前年の十分の一と不足した経過となっていることがわかります。

そうした経過が本年稲作の収量減収した第一指標である有効穂数の低下となって表われ、また同様に田植後四〇日間の気温と日照が、一平方米当り全粒数決定に影響する点などを考えてみますと、稲作前半の気象経過で、すでに減

第1図 遠賀町の水稲 主要収量構成要素の変化



・三株で近年になく増加し理想的な傾向を示しているが、一平方米当り有効穂数は三一七本と前年に比べ九二パーセントにとどまり、一平方米当り全粒数では前年の七三パーセントとかなり低下しています。

本年稲作が、このような生育経過をたどった原因は異常的な気象経過であったためで、四二年大豊作年と比較検討してみました。

第二図は水稲生育期間半別気象図ですがこれによりまず、

水稲生育一生を支配する重要な時期は「田植後二〇間位まで高温多照に経過し、それ以降最高分けつ期までやはり高温多照のほか気温較差の大きい気象条件が、分けつ発生の量、質に影響し収量確保の第一条件」となっており、四二

収要因がそろっていたといえそう

次に「イモチ病」の異常発生ですが、出穂期前後とくに多雨で必然的に低温気味に経過したために、N質肥料過剰過多→生態軟弱↓低温と「イモチ病」発生条件もそろっていたことになりました。

こうした本年の稲作をかえりみますと、近年にない生育気象経過に陥いられ作柄低下しそのうえ思わぬ被害まで受けましたが、病虫害など人為的にある程度防除出来る面も思いだせます。例えば「イモチ病」だけについても一〇アール当り被害率は、平均して九パーセントとなっており町全体で三八

水稲生育期間半別気象図



九トン、被害額にして五、三〇〇をみた肥培管理をすることが大切万田となり、稲作一本の当遠賀町にとつては被害甚大な稲作年であったこととなります。

以上本年稲作の特徴的な面だけを総合しても気象年次を見るかぎり参考となる年で稲の毛状ばかりでなく、生理的に稲姿のバランス

を総合しても気象年次を見るかぎり参考となる年で稲の毛状ばかりでなく、生理的に稲姿のバランス

農林省福岡統計調査事務所
北九州出張所長
鶴我 要

緑化にちなんで

庭園講座が開かれる

緑化推進期間(三月一日から三月三十一日まで)にちなんで遠賀町庭園同好会(石松正人会長三十名)主催で去る二月二十六日「緑づくり」を目標に庭園実地講習会が開かれました。

講師は遠賀農高の広田先生で庭園実地講習会は公民館別館にて



【写真は摘み取りの会員たち】

全国一斉春の火災予防運動始まる

期間二月二十八日～三月十三日

これから春季にかけては、火災を起し易い気象上の悪条件が続きます。火の取扱いは充分ご注意ください。又、最近の火災の傾向としては、焼死者を多数だしています。

旅先での旅館、ホテルなどを利用するときは、避難経路や非常口、消火器などの位置を確かめておきましょう。

山林、原野に火入れするときは充分注意すると共に役場に届けましょう。

一般家庭において灯油を五〇〇ℓ以上は消防法により貯蔵できません。一〇〇ℓ以上五〇〇ℓ未満の貯蔵については火災予防条例の規定の適用を受けますので役場に届けるとともに消火器一本

以上設置して下さい。

なお、運動期間中における全国一斉実施事項として

①旅館、ホテルにおける避難設備の整備と宿泊者に対する避難経路の案内

②林野火災の防止

③就寝、外出時の火の元点検

◎火災運動

期間中の行事

一、郡内四町消防団合同による消防車の町内パレードの実施。

二、旅館、学校、保育園、工場、倉庫、アパート、油類取扱業者、その他多数の者が集まる場所の立入検査（各施設の消火設備等の点検調査）を行ないます。

政治講座開催さる

さる一月十日午後〇時三十分から遠賀町公民館別館において毎日新聞社論説員金沢勝先生を講師として招き時事問題に関して二時間半にわたって政治講座が行なわれました。

はじめ公民館分館長の方々が約百三十名出席され、日本をとりまく世界の情勢や国内における諸問題などをとり上げてわかり易くお話をして頂き出席者一同終始熱心に傾聴して午後三時に終了しました。

この席には遠賀町婦人会の幹部



増加の一途をたどる交通事故

ここ数年間をふりかえってみると全国的に交通事故の発生状況は年々増加の一途をたどっており、本町においてもこの傾向が近年になって著しく目立ってきました。

この事故がふえる要素として自動車数の絶対増加に対して道路行政、生活環境のたおくれ、交通道徳心の混乱と低下などの理由が色々とあげられますが何と云っても、われわれの生命財産は一人一

人が細心の注意を払って町民一丸となって交通事故を起さないように心掛けなければなりません。

親がまず手本を示そう
正しい横断

急停車されても

よい距離 よい速度

みんなで歩いてみると

ひとり／＼がよく注意

違反別交通事故発生状況 (前年対比) 折尾警察交通課調

| 【車両等】 | | | | 【歩行者】 | | | |
|------------|-----|-----|-----|--------------|-----|-----|-----|
| 年別増減 | 43年 | 42年 | 増減数 | 年別増減 | 43年 | 42年 | 増減率 |
| 違反別 | | | | 違反別 | | | |
| 総数 | | | | 総数 | | | |
| 信号無視 | 7 | 5 | +2 | 駐車車両等の直前直後横断 | 7 | 5 | +2 |
| 横断、転回、後退不適 | 46 | 25 | +21 | 幼児のひとり歩き | 2 | | +2 |
| 車間距離不保持 | 91 | 90 | +1 | 踏切不注意 | | | |
| 追越違反 | 50 | 59 | -9 | 踏切徘徊 | 3 | | +3 |
| 右左折違反 | 41 | 26 | +15 | 飛び出し | 9 | 7 | +2 |
| 優先通行違反 | 23 | 47 | -24 | その他 | 2 | | +2 |
| 歩行者保護違反 | 21 | 22 | -1 | | | | |
| 徐行違反 | 22 | 30 | -8 | | | | |
| 酒酔い違反 | 73 | 70 | +3 | | | | |
| 安全運転その他 | 381 | 373 | +8 | | | | |
| その他 | 33 | 31 | +2 | | | | |
| 小計 | 788 | 778 | +10 | 小計 | 23 | 12 | +11 |

昭和四十四年度

不動産鑑定士試験案内

このことについて四月二〇日（

）

第一次試験）及び七月十五日、十六日、十七日（第二次試験）に試験が行なわれますのでお知らせし

ます。
当詳細については役場庶務課にお問い合わせ下さい。

